

旧衣川荘

事業者決定！ 再開へ！

民報

おうしゅう

読者版

発行
 赤旗奥州出張所
 水沢字久田 62
 Tel 24-2021
 Fax 24-2049

奥州市議会の6月定例会は、5月27日から6月22日まで開催されました。日本共産党の奥州市議団は、全員が一般質問に登壇して、市政全般にわたる質問を行いました。引き続き、一般質問の内容を紹介します。



衣川荘の再開に向けた見通しは

菅原明議員は、衣川荘の譲渡に関して、昨年9月に次点候補者を新たな優先交渉権者とし、協議を進めていることから、移譲に向けた交渉状況および、再開の見通しを倉成市長に質しました。

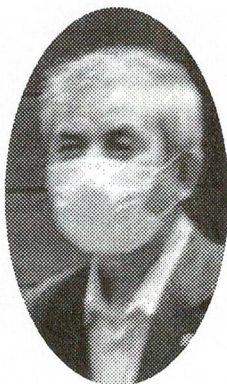
市長は、4月に入り相手方の確定した事業計画の提出を受け、当該計画が資金調達も含め、事業実施の確実性を担保できる内容であると認められることから、相手方と合意し、市としての機関決定となった。

豪雨災害の備えを万全に

また再開の見通しについては、改修工事全体の工期が相当程度必要なことから、今年度中の再開は難しいものと考えている、と述べました。

菅原明議員は、コロナ禍でも、避難所は安全・安心な体制が必要なことから、再点検をし、必要なものは国の「緊急防災減災事業」を活用し、充実するべきであると質しました。

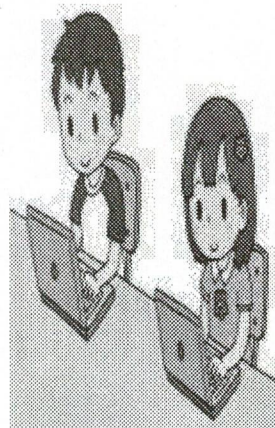
担当者は、整備については避難所を確認し、不備な場合は活用を考えた、いと述べるにとどまりました。



GIGAスクール構想、機器更新時の財源対策は

瀬川貞清議員は、GIGAスクール構想に関わって、機器更新期の財源対策について質問しました。この構想は、児童・生徒に一人一台のパソコンを貸与して情報教育を行うものです。

本来は、年次計画で整備していく計画でした。しかし、コロナ禍のもとで交付金を使って一気に機器を導入することになりました。5年後の機器更新の際の財源は明確ではありません。



「同じ不安を持っている」

…教育委員会

これに対し、教育長および担当者は「同じ不安を持っている」としたうえで、「端末の購入費は約5億9600万円、関連機器である大型提示装置や充電保管庫を併せ、機器代として合計約8億600万円の整備費を要している。5年後には機器の更新時期となるが、更新時には、メンテナンスやトラブル対応なども考慮し、長期によるリース契約を想定している」「整備費の財源を確保するため、市総合計画実施計画により計画的な整備を進めるとともに、国の動向にも注視しながらより効果的な事業運営をめざす。またICT教育の継続のため、国及び県に対して補助事業の実施を要望する」と、答えましたが、確実な財源確保は「何も決まっています」と答えた。

瀬川議員は、「市民への負担増や他事業の削減につながらないよう対策すべきだ」と忠告しました。

「持ち帰り学習」には援助必要

また、瀬川議員は、今後の計画として答弁された「持ち帰り学習」についても取り上げました。これは、パソコンを自宅に持ち帰り利用するものです。自宅にネット環境がない児童・生徒にポケットWi-Fiという器具を貸し出すものですが、利用料を徴収するということです。

瀬川議員は、「家庭の経済的事情を無視して利用料を徴収すべきではない」と要請。教育長等は、「モデル校を指定して調査・検討することにしており、負担の在り方についても検討したい」と答えました。

議員来訪 高橋ちづ子

★6月28日(火)★

午前8時 市役所本庁前
 午前9時 JA岩手ふるさと本店前
 午前10時15分 江刺サンエー前

みなさん、お誘いあわせの上、多数のご参加をお願いします。